



歴史の道土木遺産 萬世大路保存会

活動地：山形県米沢市相生町～福島県福島市上町



団体紹介

当保存会は、米沢市万世町全戸（約千戸）が加入しており、平成3年からの活動は32年を迎えました。

明治天皇により命名された「萬世大路」という明治の偉業の財産・宝（令和2年2月に山形の宝に登録）を里山から深山まで、後世に大切に継承していくことを目的に、万世コミュニティセンターを拠点に活動しています。

令和5年度活動内容

萬世大路保存会ホームページへ ⇒



“沢名の看板” と “散策マップ” で万世小学校校外学習ガイド

4年前から交付金の活用で樹木名札や標高看板及び沢名看板を設置しました。これまでに取り付けてきた名札や看板は、ガイドと散策参加者から好評で、ルート中のひとつの目印にもなってきました。毎年恒例の地元万世小5年生の校外学習では、「森のたんけん手帳」と、本事業で印刷した散策マップを合わせて活用させていただきガイドさせていただいております。

令和5年4月11日のお昼前に飲食物を持たない85歳男性が一人で雪の残る散策路を登山。午後3時頃に入山口付近まで下がるが動けなくなる。下山が遅いのを心配した米沢砕石職員が心配して迎えに行ったところ、うずくまっているのを発見。声を掛けながら事務所まで助け出し、体を温めてから自力で帰宅に向かった。これを受け、再発防止を目的に、山形県置賜総合支庁と保存会名で注意看板を設置しました。全シーズン通じて注意が必要です。



倒木処理は、毎年繰り返しての作業です



活動を行っての感想

- 散策における自身の健康意識高揚と装備を含めた安全の確保について、ガイドから説明することと、自然への畏敬を感じていただくよう努めたい。
- 植物や菌類、動物、地質や化石などの情報について令和6年度以降も収集し、米工専攻科生徒の学習を兼ねてホームページの掲載を進めて視聴者の満足度を上げていきます。

置賜総合支庁予算で看板を立てていただきました

